| 科目区分 | 基礎科目 | 科目名 | 生活と書 | 科目コード | 17L110 | 担当者 | 江副　功 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象学生 | ビジネス・医療秘書コース2年生 | 学期区分 | 後期 | 単位数 | 2 | 卒業要件 | 選択必修 |
| | | | | | | 免許・資格要件 | |

| 科目の主題 | 学修成果との関連（大◎、中○、小△） |
|---|---|
| 書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。 | 1．「尽心」誠実な人柄と人間力<br>2．「創造」高度な知性と創造力<br>3．「実践」明確な意思と実践力 |

| 科目の到達目標 | | ①誠実性・真摯性 | ②多様性・協働性 | ③知識・技能 | ④思考・表現・判断・創造力 | ⑤主体性・実行力・自立性 | ⑥就業力・貢献力 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1． | 文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。 | | | | | | |
| 2． | 「美しい文字」を鑑賞することによって、感性を高め技法の上達にも努める。 | | | | | | |
| 3． | 朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。 | | | | | | |
| 4． | 静聴できる態度（心構え・習慣）を体得する。 | | | ◎ | ◎ | | ○ |
| 5． | | | | | | | |

| 授業方法 | 成績評価の方法と割合 |
|---|---|
| その都度、プリントを配布し、それに則り講義（演習を取り入れる）する。 | 提出物（50%）<br>受講態度（50%） |

| 準備学修 | 課題等への対応 |
|---|---|
| 日頃より「あらゆる文字」に関心を持つように心掛けること。（週当たり2時間程度）<br>専用のノート（A版）と鉛筆（B又は2B）・ボールペン・筆ペンを準備。シャープペンは不可。 | 学務システムにおいて、成績は発表する。 |

| 授業計画 | |
|---|---|
| 第1回 | 書へのいざない　ー書の魅力の再発見ー |
| 第2回 | 楷書の歴史と書法（特徴・形の取り方・表情）、唐の四大家。 |
| 第3回 | 楷書の歴史と書法（北魏周辺の歴史と書法） |
| 第4回 | 筆ペン・ペンによっての楷書の書法（ペン字にて筆順・書法の演習） |
| 第5回 | 筆ペン・ペンによっての楷書の書法（ペン字にて筆順・書法の演習） |
| 第6回 | 筆ペン・ペンによっての楷書の書法（ペン字にて筆順・書法の演習） |
| 第7回 | 行書の歴史と書法（特徴・形のとり方・表情） |
| 第8回 | 筆ペン・ペンによっての行書の書法（筆順の変化・形のとり方） |
| 第9回 | 筆ペン・ペンによっての行書の書法（筆順の変化・形のとり方） |
| 第10回 | 筆ペン・ペンによっての行書の書法（筆順の変化・形のとり方） |
| 第11回 | 楷書・行書・草書とかなの関係（草書体・連錦） |
| 第12回 | かなの歴史と書法（かなの誕生、片かなの誕生） |
| 第13回 | 筆ペン・ペンによってのかなの書法 |
| 第14回 | 漢字・かな交じりの書法・手紙文・ハガキ文 |
| 第15回 | 書道概論の総括から”生活の書”へと導く。 |

| 教科書・参考書 | 受講生へのメッセージ |
|---|---|
| 特に定めない。その都度、資料（プリント）を配布する。 | この授業において、ジェネリックスキルをも涵養してほしい。 |